

地域社会の発展・人材育成・学術の振興などに貢献 中津川市と連携協定を締結

～中津川市市長・工藤秀機学長が締結式に登壇～

2019年2月8日(金) 15:30～16:00

於：文京学院大学 本郷キャンパス C館11階サロン・ド・ブンキョウ

文京学院大学（学長：工藤秀機）は、地域社会の発展、人材育成及び学術の振興に寄与することを目的として、中津川市（岐阜県）と連携協定を締結することが決定しました。それに伴い、2019年2月8日（金）に、本学にて協定締結式を実施いたします。

協定の趣旨及び背景

中津川市では、急激な少子高齢化や人口減少、地方分権の更なる進展といった社会情勢への対応と、2027年のリニア岐阜県駅の開業に向けて、「総合計画」と題したまちづくり計画を進めています。その一環として、大学と地域団体が課題解決に取り組む「域学連携」に積極的に取り組んでおります。

本学では、2014年に岐阜県内で実施した本学の伝統行事「五街道ウォーク」（実行者：五街道ウォーク実行委員会）を機に、中津川市との交流を深め、これまでも地域の活性化や産業の振興に役立てるための研究・活動を双方の地で行ってまいりました。2018年には、中津川市域学連携活動支援補助金事業採択を受け、2018年9月1日、「中山道ナイトウォーク」を学生達が企画・実施し、中津川市の花・サラサドウダンをモチーフにした電飾「サラサドウダンライト」を制作。「中山道ナイトウォーク」の様子を動画で制作し、中津川市の魅力を世界に発信しました。

今回の協定は、地域の産業や文化の振興だけではなく、教育及び人材育成に関する内容、健康・医療及び福祉の充実に関する内容と、地域全体の活性化を目的とした協定内容となっております。

今後の具体的な連携事業として、学生たちが中山道や中津川宿などのPR動画を制作する予定です。さらに、より一層友好関係を深め、本学全学部や市内各域との連携事業の可能性を広げながら、中津川市の魅力を発信する予定です。

「中津川市との連携協定締結式」実施概要

- 開催日時：2019年2月8日（金）15:30～16:00
- 開催場所：文京学院大学 本郷キャンパス C館11階サロン・ド・ブンキョウ
- 登壇者（中津川市）：青山節児市長、片田毅定住推進部長
- 登壇者（本学）：工藤秀機学長、島田昌和理事長

<文京学院大学について>

1924年、創立者島田依史子が島田裁縫伝習所を文京区に開設。教育理念「自立と共生」のもと、先進的な教育環境を整備し、現在は、東京都文京区、埼玉県ふじみ野市にキャンパスを置いています。外国語学部、経営学部、人間学部、保健医療技術学部、大学院に約5,000人の学生が在籍する総合大学です。学問に加え、留学や資格取得、インターンシップなど学生の社会人基礎力を高める多彩な教育を地域と連携しながら実践しています。

【文京学院大学 概要】

学校名： 文京学院大学
代表者： 学長 工藤秀機
所在地： 本郷キャンパス 東京都文京区向丘1-19-1
ふじみ野キャンパス 埼玉県ふじみ野市亀久保1196
学部： 外国語学部、経営学部、人間学部、保健医療技術学部
URL： <https://www.u-bunkyo.ac.jp/>